

舗装個別施設計画

2021（令和3）年2月

福岡県 県土整備部 道路維持課

目 次

<u>1. 計画対象施設の設定及び現状</u>	… P 1
1－1 計画対象施設の設定	
1－2 計画対象施設の現状	
<u>2. 基本的な考え方</u>	… P 3
2－1 基本方針	
2－2 点検	
2－3 評価	
<u>3. 施設の状態等</u>	… P 4
<u>4. 計画期間</u>	… P 5
<u>5. 対策の優先順位の考え方</u>	… P 5
<u>6. 対策内容・実施時期</u>	… P 6
6－1 対策内容	
6－2 実施時期	
<u>7. 対策費用の概算</u>	… P 6

1. 計画対象施設の設定及び現状

1-1 計画対象施設の設定

本個別施設計画は、福岡県が管理する下記の舗装3,539.1kmを対象とします。

表1 種別毎の施設数

(平成30年4月1日時点)

道路種別	全延長(km)
一般国道	518.7
主要地方道	1,399.6
一般県道	1,620.8
計	3,539.1

1-2 計画対象施設の現状

本県全体の平均 MCI 値^{※1}は 5.8 であり、全体として望ましい管理水準^{※2}である 5.0 を満たしているものの、今後ますます施設の老朽化が進む状況にあります。

※1 MCI 値とは、舗装の状態を示す指数であり、ひび割れ率、わだち掘れ量の 2 要素の値から算出するものです。10 点満点の評価であり、数値が大きいほど舗装の状態がよくなります。

※2 出典：第 34 回建設省技術研究会（昭和 55 年度）



MCI=5.0
ひび割れが見える程度



MCI=3.5~4
ひび割れが複数ある程度



MCI=3.0
ひび割れが広範囲にひろがり、わだち
掘れが顕著



MCI=2.0
ひび割れが全面にひろがり、わだち
掘れが顕著

図1 MCI 値ごとの劣化状況例

2. 基本的な考え方

2-1 基本方針

将来にわたって舗装を安全に利用していくため、計画立案・点検・判定・維持管理対策といったメンテナンスサイクルを実施しながら、予防的な維持・修繕を行います。

これにより、施設の長寿命化を図ることや、財政負担を軽減・平準化することで、効率的・効果的な維持管理を実施します。

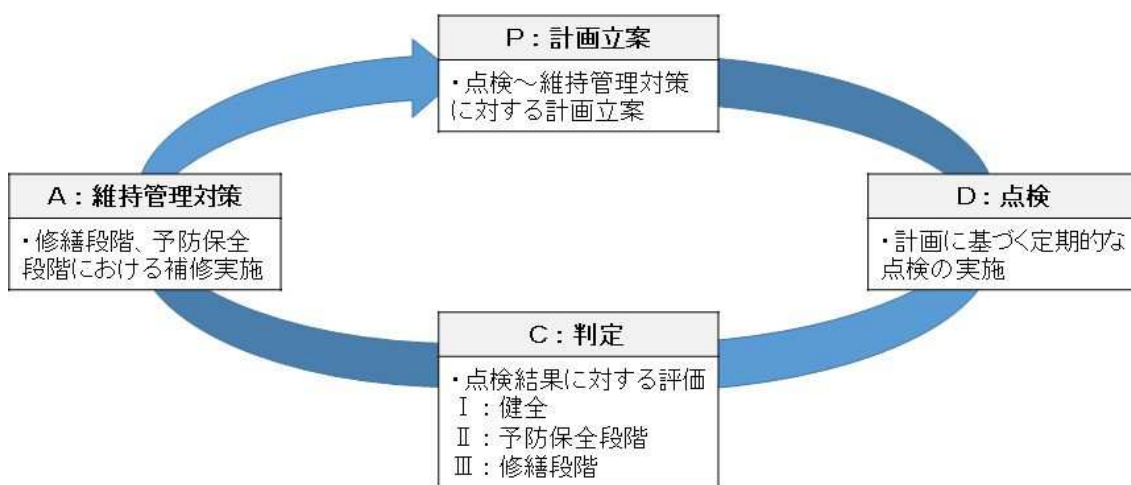


図2 PDCA サイクル型維持管理

2-2 点検

福岡県が管理する舗装は、N5 交通以上の路線は路面性状測定車を用いた点検を実施し、N4 交通以下の路線は目視による点検を実施しています。

これらの点検は、「定期点検要領（案）【舗装編】（平成21年10月）」に基づき実施します。

※N5交通以上とは、大型車両が1日・1方向当たり250台以上となる路線

2-3 評価

点検を行う施設は、MC Iによる劣化に応じ3段階（Ⅰ～Ⅲ）で区分するとともに、区分に応じ適切に措置を講じます。

表2 評価区分

区分		状態
Ⅰ	健全 ($5.0 < MCI$)	損傷レベル小：劣化の程度が小さく、舗装表面が健全な状態である。
Ⅱ	予防保全段階 ($4.0 < MCI \leq 5.0$)	損傷レベル中：劣化の程度が中程度である。
Ⅲ	修繕段階 ($MCI \leq 4.0$)	損傷レベル大：劣化の程度が大きい、又は早期の劣化が予見される状態である。
		Ⅲ-1 表層の供用年数が使用目標年数を超える場合（路盤以下の層が健全であると想定される場合）
	Ⅲ-2 表層の供用年数が使用目標年数未満である場合（路盤以下の層が損傷していると想定される場合）	

3. 施設の状態等

点検により、Ⅰ～Ⅲに区分した施設延長は、3,539.1kmです。そのうち、Ⅰ区分（健全）は約77%、Ⅱ区分（予防保全段階）は約13%、Ⅲ区分（修繕段階）は約10%です。

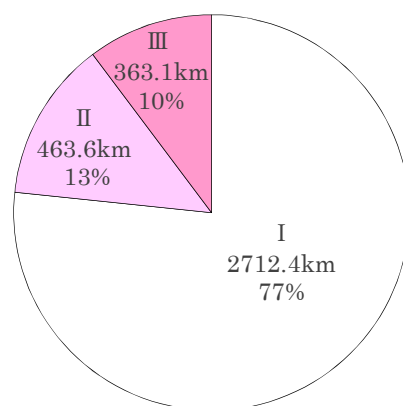


図3 評価区分別の施設割合

(単位：km)

区分		国道	主要地方道	一般県道	計
I	健全 ($5.0 < \text{MCI}$)	398.1	1033.3	1281.0	2712.4
II	予防保全段階 ($4.0 < \text{MCI} \leq 5.0$)	64.9	201.2	197.5	463.6
III	修繕段階 ($\text{MCI} \leq 4.0$)	55.7	165.1	142.3	363.1
合計		518.7	1,399.6	1,620.8	3,539.1

表3 評価区分別の施設割合

4. 計画期間

計画期間は、令和8年度（2026年度）までとします。

5. 対策の優先順位の考え方

対策の優先順位は、健全性の他、道路利用者など第三者への影響度や路線の重要度などを総合的に勘案して判断します。

区分Ⅲ（修繕段階 $\text{MCI} \leq 4.0$ ）に評価された箇所の対策を推進します。次いで、区分Ⅱ（予防保全段階 $4.0 < \text{MCI} \leq 5.0$ ）に評価された箇所の対策を実施します。

6. 対策内容・実施時期

6-1 対策内容

点検結果に応じ、表面処理工法、パッチング、切削オーバーレイ、打換工法などの対策を実施します。

6-2 実施時期

対策の優先順位をもとに平均MCI 5.0以上を目標とします。路線・区間ごとに経年劣化を見込み実施時期を決定します。

表4 実施計画表

(単位：km)

区分	合計	～R2年度 (～2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
Ⅱ	289	0	0	0	50	82	56	100
Ⅲ	662	107	125	121	99	60	98	53

※令和3年度(2021)以降の修繕計画については、劣化が進行し、区分Ⅰ、Ⅱが一定数、区分Ⅱ、Ⅲとなることを推計したものです。

今後の点検結果や対策の実施状況を踏まえたうえで、適宜、計画を更新し、対策を実施することとします。

7. 対策費用の概算

表5 対策費用の概算

(単位：百万円)

施設種類	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度～令和8年度 (2021～2026)
舗装	4,257	3,836	3,400	3,401	22,200

※平成29年度(2017)～令和2年度(2020)は実績値を記載しております。

※令和3年度(2021)～令和8年度(2026)は概算値であり、実際の予算や事業費とは異なります。